

平成25年度上毛町人権講演会

ひよん
じんいん

12月8日(日)、人権週間の取り組みのひとつとして、げんきの杜で上毛町人権講演会が開催されました。

講師には「テレビ、ラジオなどで知られるコリア・レポート編集長の辺真一さんを迎えて、「心の国際化を目指して～人権感覚豊かな社会実現を～」と題について詳細に話されました。また、北朝鮮拉致問題については、「日朝関係の改善はまず、韓国との良好な関係が大事である」と言されました。ユーモアも交えながら会場に集まつた人たちに人権問題の大切さを伝えました。

また、口ビートでは、小・中学生による人権ポスター、デザイン標語の展示や、人権擁護委員による街頭啓発も行われました。



ゲートボール協会大平支部

会員相互の親睦と健康保持を目的として活動を行っています。また、高齢者の認知症防止のためにも運動を行っています。

会員は、現在下唐原チーム12名、西友チーム6名、横仙チーム6名の合計24名で練習を行っています。

毎月第3土曜日には、新吉富支部と月例会を開催し、お互いの親睦を深めています。さらに、2ヶ月毎に開催される京築支部大会にも積極的に参加し、交流を深めています。

大平支部の会員も高齢化が進んでいます。男女問わずゲートボールに興味のある方は、是非一度練習場所へお越しください。年齢の若い方も大歓迎です。

- 練習場所・日時
大池公園多目的運動広場
毎週水、木、土曜 9:00~12:00
- 問い合わせ先 末廣 恒和 TEL 72-3712

ゲートボール協会新吉富支部

ゲートボールは高齢者の健康維持や親睦を図るスポーツとして脚光を浴びていますが、戦後子どもたちのために日本で考案されたスポーツです。世界30カ国に広がり、国際交流試合も盛んであります。福岡県大会では、6歳から92歳までの選手が活躍しており、子どもから高齢者までが一緒に楽しめるスポーツです。

私たち新吉富支部でも、健康づくりや会員・地区的交流や親睦を深めることなどを目的に毎日練習を行っています。

ステイックは無料で貸し出しきれますので、気軽に遊びに来てください。牛頭天王公園や安雲ゲートボール場で13時30分から毎日楽しく2時間程度練習をしています。

興味のある方は、是非一度練習会場へお越しください。

- 練習場所・日時
牛頭天王公園、安雲ゲートボール場
毎日 13:30~15:30
- 問い合わせ先 岡本 美佐子 TEL 72-3375

九州地区選抜空手道選手権大会 優勝しました

11月24日(日)、直方市民体育館で九州地区選抜空手道選手権大会が行われ、九州各地から選抜された選手による熱戦が繰り広げられました。

豊築支部から出場した木津浩介選手は「一般男子組手の部」で、吉元海人選手は「小学6年生男子組手の部」で、日頃の練習の成果を充分に發揮し、見事優勝しました。



第49回福岡県スポーツ推進委員感謝状が贈られました

12月8日(日)、中間市で「第49回福岡県スポーツ推進委員研修大会」が開催され、上毛町スポーツ推進委員として活躍されている、福本利三さん(西友社)へ感謝状が贈されました。

福本さんは平成14年に体育指導委員(現・スポーツ推進委員)に就任以来10年以上の長きにわたり、各種体育行事の企画、立案、運営に参画し、生涯スポーツの普及振興に多大な功績を収められました。

瑞宝双光章を受章

元新吉富村議会議員、園田明さん(垂水下区)

が瑞宝双光章を受章されました。4期16年間の長きにわたり、村議会議員を歴任され、旧新吉富村並びに地方自治の発展に大きく貢献されました。(地方自治功労者を対象に贈られます)

園児とおやつ作り

11月15日(金)大平保育所の園児が収穫したさつま芋を使い、食育ボランティアの方々と芋もちやひらひらもちを作りました。園児たちは、材料の米粉生地を粘土遊びをするようによく捏ね、芋もちは蒸すためにアルミ箔に入れ、ひらひらもちは自分で好きによつに伸ばして形をつくりました。自分たちで作ったおやつはとても美味しく、喜んで食べていました。おやつ作りを体験することで食について興味や関心を高めることができました。



お弁当作り

11月7日(木)、南吉富小学校5年生が食育ボランティアの方々の指導でお弁当作りに挑戦しました。児童たちは、4人のグループに分かれ、思い思いのお弁当を、慣れない手つきで一生懸命調理しました。自分で作ったお弁当は、とてもおいしくできあがりました。自分で調理することは、食への関心を高めます。また、グループで協力して作業することで、調理したもののみんなで食べる喜びを感じることができたようです。



子どものおやつの大切さ

11月9日(土)、げんきの杜で

大平保育所の保護者の皆さんを対象に、「子どもの大切なおやつについて講演会が行われました。

子どもにとつておやつは、三度の食事では足りない栄養を補う大切な役割があり、保護者の皆さんも熱心に聞いていました。講演後、さつま芋を使った簡単なおやつを教えていただきました。同じさつま芋でも調理方法を変えれば、見た目も食感も変わり、大変参考になったと好評でした。

おやつ作りを通して、参加された皆さんも作る喜びや食への関心が高まつたようです。



食育講演会

11月6日(水)、上毛中学校2年生を対象に、産業医科大学、

徳井教孝教授、中村学園大学、三成由美教授による「心と体の健康・健康づくりのための食生活」についての講演会が行われました。

心と体の健康で最も大切なことは、規則正しい生活リズムを作ること。睡眠不足や生活リズムが乱れると体や心に影響を及ぼすため、自分の生活を見直すことが大事です。その中でも健康づくりのための食生活は地域の食材を上手に食べ「五味・五色・五感・五法」が基本だとお話しがありました。

